

'00

第九

のべおか第九だより（第280号）
2000年11月26日（日）発行 のべおか「第九」を歌う会
事務局（延岡総合文化センター内）
882-0852 延岡市東浜砂町611番地2
電話 (0982) 2 2 - 1 8 5 5

今日の練習	前回の練習	会員数	出席数	出席率	自己採点
指揮者の指導を重点的に	ソプラノ	55人	34人	66.1%	63.9点
A (237～330小節) p.9～17	アルト	90人	64人	73.4%	64.6点
B (411～654小節) p.20～33	テノール	26人	20人	84.6%	63.8点
C (655～762小節) p.34～43	バス	28人	19人	73.3%	62.0点
D (795～920小節) p.46～58	合計	198人	137人	72.8%	63.8点
12月9日まであと13日					



@現田先生の指導（11月17日）

その付近の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
その部分の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
...お話

（ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。）



【お話】写真入りで凄いですね。これをみなさんは持ってらっしゃるわけ。僕、なんか間違ったことと言ってなかった？大丈夫？「millionenがアホやねん」なんてこと言ってんじゃないかと思ってね。...おもしろい、じゃ今日練習する必要ないですね（笑）。

238 【Freu-de!】もうちょっと、“Fre-”を速く出しましょうか。“u”がオンザビートで。

257 【Dei-ne Zau-ber】...とってもいい感じになってますから、もうちょっと二重母音をはっきり。
“Dei-”ここだ。

.....あ、ものには限度、ものには限度（笑）。ほどほどに。大事なものは“Dei-ne Zau-ber”“あなたの魔力”だ。“Zau-ber”の印象が弱い。どうしても僕らというのは音の頭ばかり責任を持ちますね。頭の音ばかり意識しすぎないで。

259 【was die Mo-de ~】“Dei-ne Zau-ber”は見えてただけど、次が全然見えてない。“あなたの魔

力が厳しく訳へ立てられたものを結びつける...”



259 【お話】たとえばね、僕ら楽譜覚えるときにも、僕なんか現代っ子だからどうしても視覚的にね、自分の楽譜のいろんな書き込みがあったりして、しみとかね、そういうところで覚えちゃうんですよ。それ良くないのね。だから、たとえばいろんな版の楽譜でイメージを持って、オーケストラの演奏になったときにはモグラたたきみたいにね、今ここでオーボエが出てくる、ヴァイオリンがパッと出てくるとかイメージで覚え把握するんですよ。こうやって見たときにも“Dei-ne Zau-ber bin-den wie-der, was die Mo-de streng ge-teilt;...”なんか一枚の絵みたいにね。“あなたの魔力が分け隔てられたものをひとつにする”みたいなものをまず想像するんです。想像した絵でパッと画面が出て、そこにあとから“Dei-ne Zau-ber bin-den wie-der, was die Mo-de streng ge-teilt;...”という字が出てくるような...。そうでなく頭から“Dei-ne Zau-ber...”だとダメなの。もっと全体で把握して。

260 【streng ge-teilt; al-~】人間というのは“強い”と“固い”と“速い”というのはイメージが一緒なんです。この逆言ってください。“弱い”と“柔らかい”と“遅い”。fのイメージは“強い”“速い”...これマイナスのイメージというのは“柔らかい”“遅い”...。音楽にはこの3つずつあるとすると、この部分は“強く”ていいんだけど、イメージとしては“柔らかく”“遅すぎず”。だからいろんな要素をドッキングしないとイケないね。“al-le Men-schen wer-den Brü-der,...”これちょっとcresc.ありますよね。普通にやるとテンポというのは少し前にいくものなんです。今(皆さんの)は) 後退している。もっと前向きにどうぞ。
.....なんか後半の歯切れ、フレージングというかまとまりが良くない。これ文法的に言っても“al-le Men-schen wer-den Brü-der, wo dein sanf-ter Flu-gel weit” “すべての人々は兄弟となる”英語で言うと関係代名詞ですね“wo”。それは何かというと“あなたの柔らかな羽のもとで”と。後半は説明なんです。その意識しっかり持って。“al-le Men-schen wer-den Brü-der,”が中心なんです。そして“wo dein sanf-ter Flu-gel weit”説明なんです。



260 【streng ge-teilt; al-】...今、この前4小節ぐらいまでは良くなったんだけど、“streng ge-teilt;”というイメージをね。“厳しく分けられている”という感じにしましょうか。...なぜ言うかということ、みなさんと1回練習をやって、こういうこと作ってもらってるから、だいたいわかってらっしゃると思うの。だからそれをもう一段ステップアップしましょうよ。内容をもっと深くやらないとつまらないでしょ。この楽譜はカタカナでしたっけ、昔は“フロイデ少年ゲッター履イテ...”って(笑)。イメージを大事にしましょうか。

262 【wer-den Brü-der,】良くなってきたから欲が出てきたんだけど、“wer-den”の“n”が早すぎる。“e”の母音をもうちょっと。

263 【wo dein sanf-ter】“sanf-ter”のあと、プレスするしないの問題じゃなくて、ちょっと魚のおなか

が見えてる。もうちょっと流れましょうか。



- 264 【Flü-gel weilt..】 “Flü-gel” が潜りすぎてるんだよ。“Flü-gel” 言葉は奥にいく言葉なんだけど、いづらいでしょ。僕が今歌っているのを聴いていても音量的に弱くなっていると思うけど。だから少し出さないと。...前にもお話たと思うけど、“Flü-gel” ってこのこと（ピアノのFlü-gel）ですよ。でも今のみんなの“Flü-gel” はアップライトピアノみたいになってるんですよ。これはここから出て、こっちが細くなってるでしょ。そんな感じ。伸ばしただけじゃなくて細くなってくれなくちゃ。
- 264 【お話】...そうメリハリが凄くはっきりしてきた。...これ前にやったんだよ。この前やったんだから、覚えててくださいね。またひとつひとつ口うつしでやるというのいいんですけども、イメージとしてこれに書いてあることと重複していることと思いますけども、母音の長さとかスピード感とかを忘れずにいってください。
- 285 【Ja,】 男性、1拍早く出てくるんだけど、オーケストラもいっしょだから、深い息をしてから “Ja, ” と言ってほしいの。
- 285 【wer auch nur】 “wer” がちょっと弱い。“,” の話、しましたよね。2回アクセントを。
- 292 【die-sem Bund.】 “Bund” ポン。ちょっと長いよ。（“Bund” と歌い終わって “ポン” と言えるぐらい前に切ること）
- 313 【Küs-se gap sie ~】 今ね、8分音符が飛んじゃってる。それを持つてるパートの方はもうちょっとはっきり出しましょう。...ゆっくりやってみましょう...4分音符はしっかりその長さ伸ばすし、8分音符も2つ目の8分音符をおなかでもうちょっとしっかり歌いましょう。



- 313 【お話】 今日、これは僕のせいだと思うんだけど、会場がいつもと違って、みなさんと近いじゃない。だからこの前やったときよりテンポが速くなってると思うんだけどね。見てるとわかるのよ。歌って非常に生理的だから、「早いんじゃない？」って歌ってらっしゃると思う。たとえば残響のまったくないところに行ったら、どんどんテンポというのは速くなるんですよ。音の間を埋めようとするから。残響がもっとあったらね、「お~い！」って。こだまがあったら時間がかかるからね。たくさんの人に言うとしたら、こっそりと「愛してるよ...」って言えないわけじゃない。「愛してるよ~！」ってなるわけだから。...言葉の時間のかけかた。
- 315 【ei-nen Freund, ge- ~】 “ge-pruft” は言いづらいんだよね。もうちょっと子音が通ってほしいんだけどね。“ge-pruft im Tod;” ここが一番強くないといけないんだよ。“死によって試される” というところ。... “ge-” の音をアクセントつけすぎると引っ込んでしまうから、アクセントつけないで。速く言えば簡単なんだけど。



316 【prüft im Tod; Wol-】 “イン” じゃない “im” だよ。 “ge-prüft im Tod;” が一つの言葉で。今、深い溝がある。...ドイツ語には “ge-” がたくさん出てくるから、その言葉が出てきたら反動をつけるみたいに (prüft im Tod;)。... “prüft” もっと巻ける人は “r” をたくさん。... “im” (口を閉じて) これ前にやったじゃない。やってはいけないというところ “wohnen.” じゃ口がついちゃいけないけど、ここはつかなければいけない。意識として “m” の時間をつくるつもりで。本来だと “ム” だけど、“ムー” っとは言わないで。...そしてもっとイメージを持ってくれる?“死によって試された友だち”。今、“einen Freund, prüft im Tod;” と歌っているときにもうちょっと “試練を乗り越えた” という感じを。単にそこらへんの河を飛び越えたわけじゃないんだからさ。分け隔てている溝を飛び越えているわけだから。

318 【Wurm ge-ge-ben,】 “Wurm” もうちょっと “虫けら” みたいな感じで。言葉の勢いがみんな平坦なんだ。こういうところでアクセル踏んでくれるといいんだけどな。

320 【steht vor Gott,】 “steht” 弱いよ。

..... (この前の) “Che-rub” は音が高いからやりやすいんだよね。そのまま “steht” 出るといいな。

320 【お話】...両立させるのは難しいよね。はっきり言って右脳と左脳を両方使わないといけない世界になってくるから、今、しっかり左脳のほうで理屈を理解しておいて、メロディラインをしっかりと右脳でたたき込んで置いてそれを合体させないといけない。メッチャメチャ高尚なことになってるのよ...ね。だから今、なんとなく聞き覚えで右脳ばかりでやってると歌詞の意味がどんどんスッ飛んでいっちゃうから。今みたいに左脳を刺激してやってると、右脳のメロディがスッ飛んじゃうんじゃない? ...両方やらなきゃ。

425 【】 バリトンの “freu-dig, ” は言い易いんですよ。テノールの “freu-dig, ” は音が高くて言いにくいんだけど、もうちょっと “r” が聞こえるとバスと対応して聞こえるんだけど。高い音ですけれども、“r” をたくさん意識してください。

430 【Sie-】 “Sie-” はもうちょっとアクセントがあったほうがいいな。



431 【--gen!】 (口) 開いてるかな?...いま1/3ぐらい開いてなかった、残念でした。

..... “n!” ?? 惜しかったねえ。面白いよ、見てると。「失敗したぁごめんなさい。先生、こっち見ないで...」(笑) ってね、

- 543 【Freu-de,】 ほとんど問題ないんだけどもなあ。もうちょっと“r”があるといいんだけど。...来年の干支ってなんでしたっけ?“巳”だよ。すみません。へびだとちょっといいづらいな、そうだと辰じゃなかったんだ。“龍が昇るようにやってほしい”(笑)。そうだとへびだったね来年は(笑)。へびでもなんでもいいや、龍でもいいから一瞬にしてエネルギーが“ヒュン!”といくといいんだけど。それこそさっきのモグラ叩きのようなモグラじゃない。



.....で、難しいのはここは2重母音なんです。 “Freu-” と下げちゃわないで、“-de!” に行かないと。...いいんだけどね、伸ばすんじゃないんだって。コレ(ピアノのFlugel)と同じで伸ばす2重母音はないのよ。ヒューンってかんだガムを伸ばした感じ。ホイップクリームでもいい。アイスクリームの先っちょ。

- 561 【bin-den ~】 “-den” “die_” の8分音符を持っている人が聞こえづらい。もうちょっとはっきりいただきましようか。付点4分音符の人はあまり短すぎずに。大ホールはよく響くホールだから、あまり横に長くやる必要はないんだけど、マルカートに歌うんだけど、言葉の最後にもうちょっと責任を持ってほしいね。

- 565 【streng ge-】 “streng” がちょっと弱い。だって英語の“strong” だからね。“strong”なのに言葉が弱いと変なのよ。



- 631 【Ihr_ stürzt】 男性、ちょっと音程がわからない。...男性、めっちゃ雰囲気いいんだけど音程悪い(笑)。すごくミステリオースな雰囲気があるんだけど、雰囲気だけじゃダメよ(笑)。音程は確固として雰囲気をミステリオースとしなけりゃ。

- 638 【Welt?】 これ飛び出しやすい音符ですから、慌てないで僕といっしょに。オーケストラのトロンボーンもここではいってくるのよ。はいってきたときにタイミング、どうしても時間かかるのね。それと同じようにみなさんが“世界”って言ってくれるといいんだけど。

- 651 【ü--ber】 テノール、もう少し明るい気持ちいいんだけどな。少し暗い感じがする。

- 651 【ü--ber】 ここ、めっちゃミステリオースだ(笑)。...ん、難しいよねここね。通常のイメージでは考えられない音だけど、これは慣れよ。“ソ・シ・ド・ミ・ソ...” って鳴ってて、探せる?自分の音。これすべての元はベースですよ。土台がしっかりしてないと何にもならない。“ソ・シ・ド・ミ・ソ”って鳴る中に“ラ”はないんですよ。自分たちで作らなければいけないんです。でもこれのすべての源は“ラ・ド・ミ・ソ・シ”という“ラ”から始まっているんです。“ラドミソシドミソ”というのが変形。3度ずつ上がっていきますよね。“ラ”がなくて上がってきているところに本来鳴っていなければならぬ音を自分で探さないといけない。



.....もう一回、おぉ~たくさんいるわ！（笑）。難しいよね。どうやってとるかということ、僕だったら“ソシドミソ...ラ”っていくのかなあ。だからこの前言ったことと矛盾するんですよ。この前は「間奏を聴くな」って言ったんだけど。だから「“ソシドミソ”って“ソ”をソプラノはちゃんと出してよ、私たち（バス）はちゃんとその音から“ラ”をとるからね」って“ü--ber...”と。そう思ってくれる？

.....もう一回。あ、きれい、きれい、きれい！

797 【bin-den_~】 “bin” “wie-” がほとんど同じに聞こえる。“wie-der” の“r” をちょっと意識して言いましょう。

801 【was die Mo-de】 “Mo-de” で次の“streng” が言えるように準備しておいて。...そう。早く準備しておけば言えるのよ。テンポに乗り遅れちゃって子音を言う暇がないと“s” が聞こえなくなっちゃう。

802 【streng_】 “st” 音量が出なくてもね、子音が出ると強く聞こえるのよ。
..... “steng_” が弱い。



802 【お話】昔、ストロング小林っていう知ってる人は知ってますよね、プロレスラーがいたんですけどね。僕はプロレスが好きだったんです。今は大嫌いだけど。子どもの頃はあれ本気でやってると思ったから。でも考えてみりゃね、あれ毎日毎日やってるんだから命いくつあっても足りないからね。ワーッ！ってやりながらほとんどカスってるような感じで...。で、音楽の中であのプロレスが必要なときがあるのよ。雑談していいですか？大事なビデオテープ（笑）。昔、森正先生って素晴らしい先生がいたんですけど、「みんな、プロレスのffでやってくれないか」とオペラのバタフライで言ったわけです。この人、何言い出すのかと僕は不思議だったんですけどね、最後にバタフライが死ぬときに“ワーッ”って音が欲しいんだけど、ホントにその音を出すと上の舞台の声が全然聞こえなくなっちゃうでしょ。気持ちはffなんだけど、プロレスのff。だから「なげるようなffを出してくれ」という意味だったらいいんだ。こりゃ言い得て妙だと。いつか使ってやろうと時々使ってるんですけど、そのプロレスのffに...ここはなっちゃいけないんだ。...じゃなくて、何の話してたんだっけ？（笑）？ “was die Mo-de streng...” そうそう、ストロング小林からなったんだな（笑）。だから“streng” のときにストロング小林の顔思い浮かべてもいいから“strong” ってイメージが欲しい。必ず“s”の子音があれば、“strong”って感じがします。

810 【Men-schen wer-den~】 “wer-den Bru-der,” ここ、もうちょっと架けてくれるといいな。



810 【お話】今日はスピード感でまとめてくださいな。最初のほうの“Wurm”と“geprüft”。そしてこの“Bruder”にはいる前に平泳ぎのようなスピード感が欲しいのね。そして“weilt”の前。この4か所。（「“steng_”が弱い。」と歌い直して指摘し、）じゃ、ポイントは5つ。

812 【sanf-ter】“san-”がもうちょっと聞こえるといいな。この前練習したときをお願いしたと思うんだけど、ほかのパートの方が必ずこれを聴いてあげてくださいよ。舞台にいる僕らが必ずソプラノを聴きましょう。



..... “sanfter”の後はプレスしていいよ。していいです。してください。...そーか、そうか、そうなるからしなかったわけね。プレスするとポジションかわっちゃうからね。でもしたほうがいいな、やっぱり。でも1回で済まない？そこ。行けそうだよ。し忘れちゃうと大変よ。ね。窒息しちゃうからね。...もうちょっとだけ、譜面に書きちゃうと困るんだけど、小さなcresc.していいから。“優しい”というここに時間がかけられるように持っていきましょう。

813 【Flü-gel weilt.】 “Flü-gel” “weilt.”と2つに分かれてしまっているから。“Flü-gel weilt.”ひとつね。最後の“l”をもうちょっとていねいに言えるといい。

..... “Flü-gel”って降りてきたときに、音が降りすぎちゃう。

813 【Flü-gel weilt.】ほかのパートもこの前でプレスして“Flü-gel weilt.”はつながるようにしましょうか。.....子音のときに母音が切れちゃうないように。まず“フリューゲー...ヴァー”って試みるの。そしてこの“エ”の口で舌だけが一瞬“l”をつくって。ここもたくさん子音があるんだよね。“ヴァ”は下唇をちゃんとかまないと。あいまいになってる。言えない人は言った時間があればいいという約束になっているんです。“Ihr_ stürzt”あそこと同じ。

823 【streng_】2度目の“steng_”が弱かったなあ。1回目は完璧だったのに。

827 【Al-le】 “Al-le”の爆発力がすごく良くなってる。そこは素晴らしいよ。そこは！（笑）。

832 【Men-schen!】 “n!”（口を閉じない）。



855 【Seid um-schlungen,】 ここのポイントなんだっけ？ “um-schlungen,” だよ。...惜しいなあ “um” が聞こえない。必ず “ム” ってとって。...あーやっぱり “ン” に聞こえる。“ン” になると全然違う言葉になっちゃくから。“schlungen,しない” ってことになっちゃうから。“n” はまとまってきましたから、本来 “m” のところはちゃんと唇が両方合わさって “ム”。

857 【Die-sen Kuß der】 “Kuß” もっとイメージ持って。ちゃんと1枚の絵が見えないと。“抱きあえ諸人よ。この口づけを全世界に！” ね。... “Kuß” 自分の口がぐーっと伸びた感じで。“K” が弱い。

857 【お話】 “なんとかの一念、岩をも通ず” で、まず思わないとね。必ず僕らはね、2度 “そうぞう” しないといけないんです。“imagine” してから “create” しないといけない。“想像” してから “創造” するんです...うまいなあウマイこと言うなあ（笑）。忘れずにやってください。

920 【fun-ken!】 そうぞう。...終わり、僕より早くなんないでね。



920 【お話】 トランペット大変なんです。ヴァイオリンもタカタカタカカって。ある人はタタタタってやって、片方でタカタカタカカってやって同じ音楽になるんだから。さっき宮崎日日新聞の方に申し上げただけど、ベートーベンのシンフォニー、これは “苦悩” “闘争” “勝利” なのよ。まずは1楽章でカオス “苦悩” があってさ、2楽章で “闘争” があって、3楽章で一瞬平和があるんだけど、4楽章では1楽章のこんな混沌とした音楽でもない闘いの音楽でもないただの平和の音楽でもない...新しいメロディを！...とってこの音だといって始まるでしょ。みんながそれを歌い出すわけだから、“苦悩” “闘争” “勝利” の階段ね。...もうひとつ、大サービスしちゃうけど、ベートーベンというのが初めて自立した音楽家なんです。それまではバッハでもモーツァルトもハイドンもやっぱり宮廷に抱えられてたり教会の音楽書いてたり。小学校の音楽室にあった写真を思い出してください。バッハもモーツァルトもハイドンもみんなここまではかつらをかぶってたと思います。ベートーベンだけがモジャモジャ頭。“ジャジャジャジャーン！” ってやりそう。あれが初めて自立した音楽家なんです。今でもオランダのハーグなんかでやってる裁判はかつらをかぶるんですよ、ホントに。ま、前時代的だと思うけど、そういうところから脱却した初めての音楽家の最後の交響曲ですから、成功させましょう。

前回の “ひとこと”

現田先生、たのしかったです。
本物はすごい。(ちょん)

時々会場も変わっていいかな？みんなの熱の入れようが違う。やっぱりいいな。今まで何をやってたのかなあ～と思います。細かいところ、やわらかさ、表現力、使い分けたいですね。頑張ろう。(日之影のシーちゃん)

超たのしー I am very
happy.(キャサリン)

今日は私的には本当にがんばっ

たと思います。本番までもう少し！がんばります。あと、チケットがなかなかさばけないんですー。どうしましょー...



(てんてこまい アーブー)

もうすぐですね。自分の持っている力を150%くらい出せるよう、がんばりたいです。

風邪が治らなくて、ソプラノができません。本番までに調子を取り戻したいです。(ピカチューのママ)

ありがとうございました。(あゆっこ)

楽しい練習でした。

野口記念館での練習、何か変な感じでした。現田先生の指導で改

めて大事な所を再確認できました。(Mike)

今日は現田先生の指導日なのに遅れてきて申し訳ありませんでした。我が家にうれしいニュース、末っ子の三男が九保大のAO入試に合格できて祝杯のため遅くなりました。バンザイ!(日向キルトママ)

いつもより声が出た。苦手な部分を少し克服できた。



(音波響架)

現田先生の指導は本当に楽しかったです。笑顔がチャーミング(?)ですね!

今日は声が驚くほどよくできました。現田先生の指導でまだまだ注意することがあったので家でもよく復習したいです。はやく覚えなきゃ!(チョコ)

かぜをひいて声がでなかったけど、現田先生の魅力で声がイメージで歌え、また一つの第九の楽しさよこびを得ました。

発音がなかなかうまくできません...練習!、練習!!

仕事が終わって夕食の準備をして大急ぎで来ました。もう少しなので...頑張らないと!でも少しお腹がすいたなあ...(レインボーママ)

声に疲れが感じられ、思いきった合唱練習ができなかった。次時は生活にゆとりをもたせて参ります。(m)

野口記念館での練習です。現田先生のご指導、楽しく輝いた時間でした。欠席された方は本当に残念だったことでしょう。

原語が甘くなっているのをひしひしと感じました。頑張りたいと思います。ご指導、ありがとうございます。

ざいました。

めちゃ楽しい練習でした。めちゃいい。楽しくやれることが一番です。現田先生、Thank you。(夢子)

現田先生の手ってやっぱり魔法の手ですね。毎回同じご注意を受け、練習してきたつもりなのに何故かまた元のもくあみで、先生が振ってくださると何とか応えることができるのですから...ヤッパすごーい。(メダカのおばちゃん)

現田先生のご指導は本当にわかりやすく指示通り歌うのは難しいけど楽しいです。...(derがやっぱり“ディール”と歌っている人がいますね。うーん。隣のから聞こえてきました。自分も気を引き締めて“der”の発音、歌いたいです。)(シャローム)

今日は現田先生のご指導日でした。高い音が難しいけど前に比べると出るようになったと思います。(時雨夢有)

風邪でのどの調子が悪いのですが、現田先生の指揮でついついのどの悪さを忘れてしまいそうです。言われることはしっかり頭に入れて忘れないよう本番頑張ります。(櫻子)

先週の練習日の朝に祖母が亡くなり参加することができませんでした。本番では天国の祖母に届くよう唄えるといいなと思います。

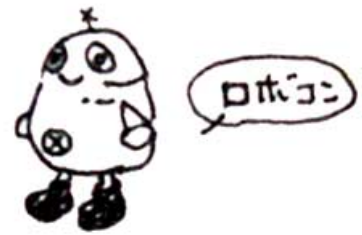
ちがうステージではじめて歌ってなんかショックでした。でもがんばります。(はるみ)

久々に出てきて声が思うように出ず、前回、現田先生に言われていたことも忘れていました。

(Run)

現田先生、今日はまた一段とはつらつとしていてさわやかで。楽しかったです。でも次にお会いするのが本番当日っていうのは恐怖~!!復習します。(anne)

この前の日曜日は文化祭があり、とっても盛り上がりました。学校の行事も一段落していいよ第九も本番に近づいてきました。気合いを入れてがんばります。



(ぱびこ)

現田先生のご指導、とても楽しくまたとても吸収しやすく、うれしくなります。本番の先生が楽しみです。がんばります。(き子)

楽しい現田先生のレッスンでした。単語の強い部分、レガートな部分、あらためて確認。いい年末の第九にしたい。(スピカ)

大切な日にちこくしてごめんなさい。追い込みに入って用事が多く困ってしまいます。

一週間の仕事がハードで疲れました。現田先生の指導が一回しか受けることが出来なく残念でした。(TOM)

少なくとも声と心をひとつに合わせて美しい歌声を21世紀に響かせましょ!(おJ蔵さん)

愛子先生の言葉、しっかりと受け止めたいです。いや、受け止めます!

いよいよ本番が迫り、緊張しています。今年は肩の力を抜いて少し楽に歌えるようになりました。

久しぶり来ましたすみません。発声練習をしていなかったの、声があまり出ませんでした。やはり発声練習は大切だと思いました。

今日はぎりぎりセーフでした。現田先生の指導はとてもわかりやすく楽しかったです。

今日はとっても楽しい練習でした。少しずつ寒くなってきそうです。風邪をひかないように気を付けましょう。(ねずみバーバ)

前回、都合がつかず、おやすみしましたが、やっと今日は宮崎から帰ってきました。久しぶりに大きな声でうたい、楽しいです。

(アツちゃん)

前回のご指導でのご注意をすっかり忘れてしまっていて、申し訳

なく思っています。しっかり復習します。(ピアチェヴォーレ)

とても細かい指導は私たちへの期待の表れかなと思っちゃったりする。(アジアンティー)

とても楽しくご指導受けることが出来ました。頑張ります。

先週は風邪で寝込んで出席できませんでした。あと3回しか練習がないので、体調を崩さないように留意するのも15回目を迎える第九を歌う会の会員の義務(プロとしての?)だなあと感じています。頑張ります。(ソムリエ)

あっという間に時間が過ぎてしまいました。本番が近づいてきてもう一度気合いを入れて頑張ります。(やな)

先生のやさしさがしみてくる時間でした。

雑用に追われ出席が出来なかった。しっかり歌わねばと思っています。(Y.N.)

頑張ります。(ドウリンク)

レベルアップをするためにも本日の指導をしっかりと心に留めて練習に励んでいきます。(おくまちゃん)

だいぶイメージができてきました。今日は色々と考えさせられそうです。(究極凡人)

現田先生のご指導も2回目。やっぱりわかりやすく素晴らしい野口記念館での初めてのレッスン。いろいろ教えられることばかり。

現田先生のご指導を忘れないように練習します。

現田先生のご指導で楽しく歌うことができました。歌に幅が出て感じよくなりました。(少しですが)

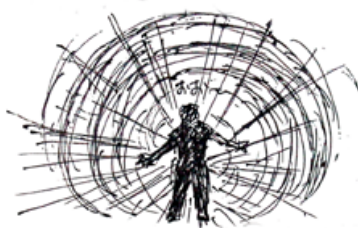
とてもすばらしいご指導で、楽しく歌うことができました。

注意をいただく時、いつも思うことは“マンネリになるな”と言うことです。改めて初心を肝に銘じています。

現田先生の楽しく解りやすい指導で、今回も楽にうたえた気がします。ご指導ありがたいと思っています。本当に素晴らしいご指導、ありがとうございました。(Y.Y.)

練習会場がかわると皆の気の入れようが変わるのでしょうか、いや現田先生の迫力のせいでしょう。(ねこぶんじゃった)

ありがとうございました。(す) ミステリロードの入り口とは...!!



(黒鳥の湖)

第九の深さを指揮法の先生はていねいに教えていただきました。ユーモアあふれる素晴らしい指導でした。

仕事の都合で遅れて来ましたが、出て良かったです。子音の事など前回の指導でも言われたこと

を再認識出来たので...

仕事で練習が足りない。テープ、CDより、やっぱりみんなで歌うほうが身体で覚えられるものですね。(でべそ)

現田先生を真っ正面に見ながらの練習ができて最高に感激! やっぱりプロの指揮者。ぐいぐい引き込まれていく。(トシ)

今日はすごく寒く、自転車できました。(大)

Seidが出たから80点。



(K.C.)

風邪をひき、声が出づらい。

(K.A.)

急いで来たので、最初のうちはなかなか声が出ませんでした。本番まで1か月を切りましたが、エンジンをかけていかなければなりません。(プータロウ)

現田先生の指導は楽しかった。(グリーンヒル)

現田先生の指導はわかりやすい。指摘された箇所をもう一度確認しながら練習したい。

よくない。(がみchan)

現田先生の指導では、思わず誘い込まれてうたったという感じだ。(Q生)

専門的で高度と思われることを大変解りやすく指導いただいて、本当に感謝しております。(T.Y.)

編集後記

今回は12月2日(土) 19:00~21:30



本番まで2週間を切ってしまいました。本番の前日の練習は入退場の練習がありますので、通しで練習できるのは次回までです。仕上がり具合はいかがですか?

さてみなさん、第九が日本で(日本人によって)初めて演奏されたのはいつでしょうか? インターネットで検索してみると、1924年11月29日ということのようです。ほかに第九のことについて詳しく掲載されているページなので、ご覧になるとタメになるかもしれません。URLは

<http://www.zdnet.co.jp/internet/links/9911/29/past.html>です。【munenori@horita.gr.jp】